

# こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO  
NEWS

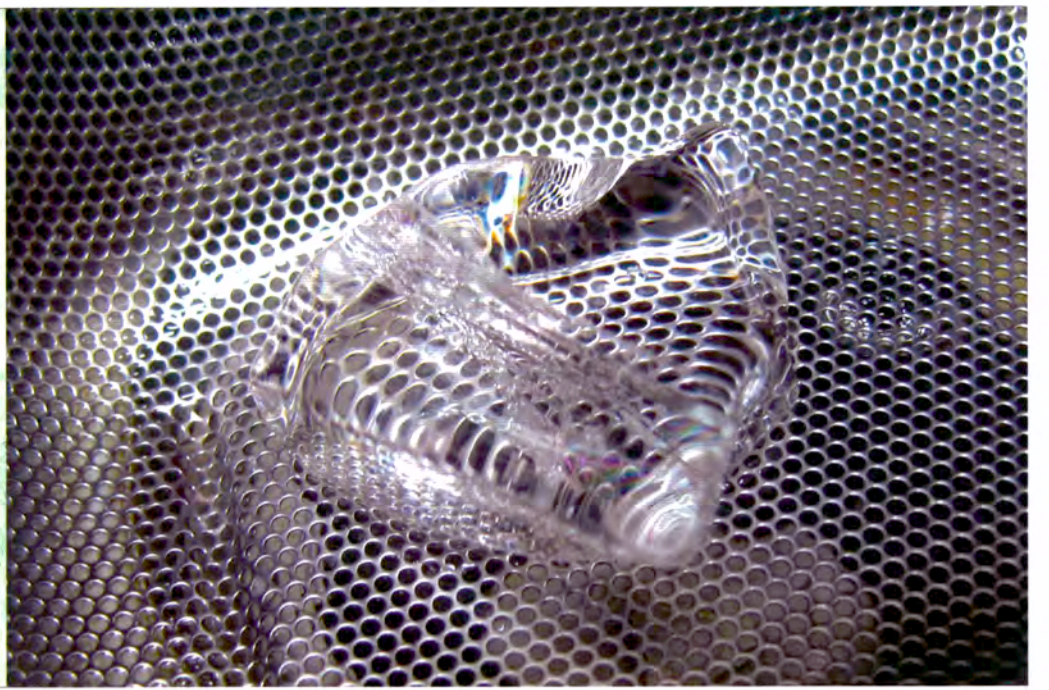


2007・2・15 No. 179 発行／〔こどもの城〕広報部 ☎03-3797-5674  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

ふもとくらふ

クリスタルガラスのように見える物体は、氷のかけら。ステンレス製の水切りかごに入れられて、台所の流しに置かれている。ステンレス色のモノトーンの世界は、音も匂いもない。氷の冷たさも感じない。動きの気配もない。

さまざまに屈折した光は、氷の表面に異なったように映しだす。同じ大きさの穴が規則正しく並んでいるはずなのに、ゆがんだり、大きさが違って見える。不規則な形の氷の表面に、それぞれ異なった世界があるようだ。そこに、わずかなぬもりを感じる。よく見ると、撮影者も映りこんでいる。  
(写真：中根静男/文：たかべ としき)



## “アート”を楽しむ

〔こどもの城〕の  
こども  
クリエイティブ  
クラブ

〔こどもの城〕の造形スタジオでは、「こどもクリエイティブクラブ」という、“造形表現＝アート”を楽しむ講座を行っています。親子(4・5歳児)で参加して、造形体験とおしてコミュニケーションを深める「親子でアート～わくわくワーク～」、いろいろな“造形表現＝アート”の楽しさを体験する「ゆかいな造形～素材の楽しみ～」(小1・2/小3～

中3)、「ハンズワーク～創造探検～」(小3～高3)、素材との出会いをたいせつにする「クレイワーク～土の冒険～」(小1～中3)、造形表現を体験するなかからイメージをひろげて絵本を作る「絵本の世界へ～イメージする楽しみ～」(小1～中3)——毎週毎週、継続して活動していくので、より充実した造形体験をすることができます。

### ■親子でアート～わくわくワーク～

#### 身近にある“アート”に気づく

“アート”との出会いを親子で楽しみます。私たちの身の回りには、たくさんの“アート”の要素がかくれています。例えば“紙”——くしゃくしゃにまるめた紙をもう一度のばしてみると、そこにいつもとちがう“紙”を感じます。“感じる”こと・“気づく”ことから、“アート”が始まります。紙のように身近な素材、金属板のようにふだん目にしない素材——手ざわりもちがえば、形を変えたり整えたりする方法・道具もちがいます。いろいろな素材にふれて、いろいろな方法・道具を使って親子でアートを楽しみます。



(木曜日 15:30～16:30/4・5歳児と親)



### ■ゆかいな造形～素材の楽しみ～

#### いろいろな造形表現にチャレンジ

木、金属、紙などさまざまな素材を用いて、それぞれの素材に合った道具を使って、いろいろな造形体験をします。布で作った動物、木で作った動物、金属で作った動物——素材がちがえば作品の印象も異なります。また、同じ木という素材でも、大きな木をけずって作ったものと積み木のように木を組み合わせて作ったものでは異なったものになります。造形表現というものは、素材、素材の形を変えたり整えたりする方法(技法)、そのために使う道具と密接に関係します。いろいろな造形表現にチャレンジします。



(水曜日 Aコース=14:45～16:00/小1・2  
Bコース=16:15～17:30/小3～中3)

### ■ハンズワーク～創造探検～

#### 自主性をたいせつに造形活動

「ゆかいな造形～素材の楽しみ～」と同じように、さまざまな造形表現に取り組みます。金属(銅、アルミニウム、しんちゅうなど)という素材を中心に、そのほかの素材と組み合わせたり、“動き”の要素などもとり入れた、少し高度な技法で作品作りをします。造形表現の世界はさまざままで、一口に金属といってもその種類や形・技法・道具もたくさんあります。「ハンズワーク」では、はばひろい体験をすることに加えて、子どもたち一人ひとりが自主的に、じっくりと造形体験・表現に取り組めるようにしています。



(土曜日 16:00～17:30/小3～高3)



### ■クレイワーク～土の冒険～

#### “土”という素材に向き合う

クレイワークであつかう素材の“土”は、いろいろな“顔”を持っています。ふくまれる水の割合によって土、ねんど、泥と変化し、焼成するとかたい陶になります。適度に水をふくんだねどのはときは、手や指で形を変えたり、整えたりできるかたさ(やわらかさ)を持っているので、さまざまなかたちで表現を楽しむことができます。たたいたり、のぼしたり、ひもにしたり——平面から立体まで、いろいろな表現にチャレンジできます。土という素材とさまざまな形で向き合い、造形表現の可能性を楽しみます。



(火曜日 16:15～17:30/小1～中3)

### ■絵本の世界へ～イメージする楽しみ～

#### イメージをひろげ一冊の絵本に

ストーリーにあわせて絵をえがくだけではなく、さまざまな造形体験とおして得られたイメージをつむいで、オリジナルの絵本を作ります。コラージュの方法を使って、いろいろなものを作ります。そこで使う素材は、フロタージュ(こすり絵)で写し取ってきたもの、自分で色をぬり模様をえがいた色紙、文房具をコピーしたものなど。思いもかけない世界が生まれてきます。さらに、作った立体をいろいろな場所においてとった写真なども組み合わせ、心のなかのイメージを絵本という形にしていきます。



(金曜日 16:15～17:30/小1～中3)



## こどもの城の講座とクラブ

〔こどもの城〕では、子どもたちの持っている可能性を引き出し、たくましく、健やかに育ってほしいという願いを込め、子どもの“育ち”をサポートする講座を開講しています。

平成19年度版(2007年度) 年齢10歳から  
第1期受講生2月22日(木)受付開始!

お問い合わせ ☎03-3797-5666  
<http://www.kodomo-no-shiro.or.jp>

ふれあいを大切にしながら、子どもたちの“育ち”をサポートする〔こどもの城〕の元気いっぱいの講座・クラブ——4月から始まるコースの受講生を募集します。〔こどもの城〕のさまざまなところでスポーツ、音楽、造形などの“遊びのプログラム”を実践しているスタッフが中心となって指導。楽しさいっぱい、仲間もいっぱい、講座・クラブです。  
親子で一緒に参加するもの、幼児・小・中・高校生の子どもたちを

対象にしたもの、そして子どもをとりまく大人たちを対象としたものまで、さまざまなコースがあります。  
くわしくは「講座・クラブ受付係」(03-3797-5666)へお問い合わせください。ご案内も用意してあります。  
また、夏休みや春休みには短期集中型(1～5日間)のコースを開催するほかに、専門指導者向けの講習会・セミナーなども行っています。

人と地球の、自然なサイクルのために。

人と自然が調和する持続可能な社会の実現をめざして、富士通グループ15万人、ひとりひとりの力をすべて結集します。私たちは、最先端のITと、環境テクノロジーをベースにお客さまにご提供する製品、ソリューション、マネジメントなど事業活動の全領域を通じて、さまざまな環境活動を行いながら、豊かな地球環境の未来を創造していきます。

すべてをグリーンにします

[jp.fujitsu.com/about/eco](http://jp.fujitsu.com/about/eco)



FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE



### 平成19年度「児童福祉週間」標語

**見つけよう みんながもってる いいところ**

平成19年度「児童福祉週間」の標語が「見つけよう みんながもってる いいところ」に決まりました。

「次世代を担う子どもたちからの発信」をテーマに、児童福祉の理念を広く啓発する標語を全国募集。寄せられた5,072作品のなかから最優秀作品に選ばれた、松堂一成さん(10歳/沖縄県)の作品です。児童福祉週間の中央行事「このほり掲揚式」(4月23日/厚生

労働省正面玄関広場)で、賞状と記念品・副賞が贈呈されます。

児童福祉週間は、5月5日の「こどもの日」からの1週間。昭和22年(47年)から、子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業・行事を行っています。



**牛乳パックで作った“キゾラウス”も展示**

「保育クラブ」「幼児グループ」の活動を、子どもたちの作品や写真をとおして紹介する「保育活動展〜子どもよう パートIV」が2月18日までギャラリーで開催されています。会場には、約500個の牛乳パックを集めて子どもたちが力を合わせて作った、大きな“キゾラウス”(キリン、ゾウ、ライオングループの頭文字を並べた架空の生き物)も飾られました。

### 鬼をめぐって大きな声で「鬼は外、福は内」

恒例となっている「節分会 大まめまき大会」が、ひと足早い1月27・28日にプレイホールで行われました。節分は、冬(季節)の変わり目の「節分」に、豆をまいてわざわいを追い払い、無病息災を願う伝統行事。【こどもの城】では、集まった子どもたちが福の神と一緒に「おには〜そと! ふくは〜うち!」。力を合わせて鬼(わざわい)を追い払いました。



### 3月18日に体育室で新体操発表会「想〜Soh」

#### 「ジュニア新体操」「シニア新体操」講師が活動の成果披露

【こどもの城】の「ジュニア新体操」「シニア新体操」の講座を受講している子どもたちが、日ごろの活動の成果を披露する「新体操発表会」が3月18日に体育室で開かれます。今回のテーマは「想〜Soh〜」。新体操への“想い”、友だちへの“想い”―いろいろな“想い”を身体で表現。OGも含めて55人が出演します。

2つの講座の受講生は、夏合宿のときに数人のグループに分かれて、自分たちで演技を創作する活動に取り組んできました。新体操の動きを土台にして、それぞれの“想い”を表現する試みです。発表会では、夏合宿で創作した演技をもとに、個人と集団、さまざまな手具(ボール、リボ



昨年の「新体操発表会」

### 3月3日は桃の節句

#### 季節感あふれるプログラムがいっぱい!

3月3日は「桃の節句」。ひな人形を飾ってお祝いする家も多いと思います。【こどもの城】では、プレイホールで「みんなでひなまつり〜ゆらゆらひなめぐり〜」(2月24・25日)を行うほか、造形「こども歳時記〜桃の節句」の親子プログラム「ガラッと! ひな変化」(写真下)を行っています。

### 受講生募集 春休み短期集中講習会

春休み特別期間(3月24日〜4月5日)に、「映・造ワークショップ アニメーションをつくらう〜アルタミラ2007」春休みこども集中水泳講習会を開催します。

そこに、バイオリニスト・中西俊博の“おと”が加わることで、ゆかいで不気味かつ優雅な空間が青山円形劇場に現れます。

「KOUSKY」というのは、部品・部分を意味するチェコ語「KOUSEK」の複数形。英語なら「PIECES」。ここでは、沢則行の小作品集のこと。いくつかの短編作品を中心に、観客

### 参加者募集中 公演にあわせ「NORISAWA メソッド」のワークショップ

青山円形劇場の公演にあわせて、「オブジェクトシアター」を体験するワークショップが開催されます。人形だけにとらわれない、人形と人間(“もの”と“ひと”)の新たな出会いを追求する「NORISAWAメソッド」を体験するワークショップ。

■日時 3月10・11日(2日間)  
■会場 こどもの城Bリハーサル室  
■料金 10,000円(材料費込み/公演入場料は含まれていません)

### 青山円形劇場オブジェクトシアターVol.10 KOUSKY IV〜沢則行 meets 中西俊博〜

#### “もの”と“ひと”と“おと”が作りだす不思議な空間

青山円形劇場オブジェクトシアターVol.10「KOUSKY IV〜沢則行 meets 中西俊博〜」の公演が3月1〜3日に青山円形劇場で行われます。人形劇の魔術師・沢則行が演じる人形劇王国チェコ発「ヘンテカコイイ」お芝居と、音のパティシエ・中西俊博が奏でる極上音楽のコラボレーション。人形が音楽を、そして音楽が動きを引き出し、おしゃれで美しく美しい舞台を作りだします。

オブジェクトシアターは、人形だけでなくさまざまな“もの(オブジェクト)」、仮面、そして俳優自身もステージに登場。さまざまなものを総合して作品を作り上げます。チェコやポーランドで生まれ、世界中に広がった新しい舞台様式。フィギュアシアターとも呼ばれ、隠れて人形を操るパペットシアター(いわゆる

青山劇場 ☎03-3797-5678 http://www.aoyama.org

**青山劇場**

- OUT OF ORDER〜偉人伝心〜  
▽3月21〜26日▽7,000円  
(問) 03-3498-9999
- 大野浩之 Feel the Wind〜新たな出会い〜  
▽3月28日▽4,500円  
(問) 03-3498-9999
- Mr.マリク&マギー司郎 超&究極ライブツアー2007  
▽3月31日▽6,300円(限定ファミリーシート=10,500円)  
(問) 03-3498-9999
- ディズニースタイル!  
「ミッキーのマジック★ワールド」  
▽4月6〜15日▽S席=5,800円、A席=5,300円 (問) 03-3498-9999
- 丸尾屋食品ミュージカル「アニー」  
▽4月21日〜5月6日▽S席=8,000円、A席=6,000円 (問) 03-3498-9999

**青山円形劇場**

- MIHY プロデュース「和楽」  
◆は・や・と和太鼓コンサート「啓蒙の章」  
▽2月20日  
◆花柳楽補をどりコンサート「春分の章」  
▽2月21日  
▽4,500円(当日=4,800円)  
(問) 070-5558-9870
- 日本映画学校併修科19期生演劇公演「超訳リア王」  
▽2月24〜26日▽2,000円  
(問) 044-951-2511
- オブジェクトシアター vol.10

### 【こどもの城】児童厚生員等実技指導講習会終わる

#### 児童館の“ボランティア”考える 北海道から沖縄県まで27人が参加

平成18年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会「児童館のボランティア活動〜地域の人材を積極的にいかすコーディネーション〜」が、北海道から沖縄県まで全国から27人が参加して1月24〜26日に【こどもの城】研修室で開かれました。

児童厚生施設のなかで、ボランティアはどのような存在なのかを原点に立ち返って考え直すと同時に、ボランティア(地域の人たち)として活動に参画してもらい、元



「困ったボランティア」の話を再現しよう!に際しての話し合いの様子

気にも活動できるように支援するにはどうしたらよいかを考えました。

「基本にかえて「ボランティア」とは何か?」では、NPO法人笑顔せたがやの山崎富一さんを講師に招き、ボランティアって何だろう?なぜ受け入れるんだろう?―という基本的な事項を、少人数のグループで話し合うワークを中心に考えました。その中で、「ボランティア自身が望む活動」と「施設で必要としている活動」が必ずしも一致しないこと(二面性)にふれ、両者のズレが生じるとモチベーションが低下してしまうので、施設としての合意をとったうえでボランティアへの期待をきちんと説明するオリエンテーションを重視してほしい、と山

崎さんは話しました。

2日目は、ボランティアを支援していくあり方(ボランティア・コーディネーション)を実際的に考えるワークショップ。ボランティアの世代別特性を考慮して、募集から受け入れシステムまでを考えるワークショップ、ボランティアとの対応を考える事例研究などを行いました。

全体のまとめとして「子どもの“ボランティア体験学習”の課題」について、高井正立教大兼任講師が講義。児童館職員には、健全育成の推進者(ファシリテーター)として、インストラクター、カウンセラー、コーディネーターなどの側面があることを理解して活動してほしい。子どもたちはボランティア体験をとおして、思いやりの心をはぐくむ他者理解、社会性を育てる社会理解を深め、さらに自立性を養う自己理解へとつながっていく。ファシリテーターとして、warm heart, cool head, hand(skill)の“3つのH”を大切に行動してほしい、と話しました。

「ゆらゆらひなめぐり」は、ひな人形にちなんだ遊びがいっぱい。三人官女のゲーム、右大臣左大臣の〇×クイズ、冠を作っておひな様になる、五人ばやしのように太鼓をたたき―いろいろな遊びを巡ります。

会場はプレイホールと音楽ロビー。2月24・25日(受け付け時間は11時〜4時30分)。



受講申し込みは、2月20日10時から、アトリウム講座・クラブ受付で先着順に受け付けます。

### 映・造ワークショップ アニメーションをつくらう〜アルタミラ2007

“映像”と“造形”の世界が出会うことで生まれる新しい世界を体験し

ます。今回は、人類最古の造形表現であり、映像表現であると言われていたアルタミラの洞窟画(野牛、馬などを描いた絵)が題材。ミニ洞窟のなかで、絵がどのように見えるのかを実験。その秘密をビデオ撮影し、アニメーション作りを生かします。

【日時】3月27〜29日(3日連続)1〜5時  
【場所】3階造形スタジオ  
【対象・定員】小学校4年生〜高校3年生(4月からの新学年) 8人  
【受講料】8,000円(材料費等含む)  
【お問い合わせ】造形事業部【03-3797-5662】

や年齢層、会場の空間において変幻自在に構成を変えていきます。“おと”の中西俊博も即興的な掛け合いで加わるようになります。

公演日時は3月1・2日(7時)、3日(2時、7時)。料金は4,500円(前売り4,000円)。お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部【03-3797-5678】へ。

### 2月22日〜3月11日 【こどもの城】ギャラリー

#### 国際芸術学校の合同美術展 アートスケープ展2007

首都圏の国際芸術学校の子どもたちの合同美術展「アートスケープ展2007」が、2月22日〜3月11日(2月26日、3月5日の月曜日は休館)に【こどもの城】1階ギャラリーで開催されます。【こどもの城】での開催は今回で22回目。日本で生活している数十か国の子どもたちが、絵画・版画・写真・陶芸などさまざまな表現方法を使って制作した、数百点の平面・立体作品を展示。作品をとおして、いろいろな国の同年代の子どもたちとふれ合うことができます。首都圏にある国際芸術学校(ほか十数校)が出品を予定しています。

### Bスタジオの催し

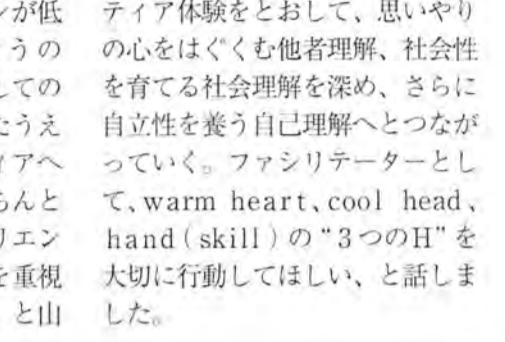
- 2月18日 手作り楽器のワークショップ  
まわす鳥笛・かもを呼ぶ笛  
1時30分〜2時、3時30分〜4時  
1時30分の回が「まわす鳥笛」、3時30分の回が「かもを呼ぶ笛」。小学生以上、定員は各回30人。15分前から音楽ロビーで整理券配付。
- 2月25日 絵が動いて見えるおもちゃの展示とワークショップ 11時〜5時  
“動いて見えるおもちゃ(視覚が具見)”の展示と3種類のワークショップ。  
ゾーマトロープを作る(11時30分〜12時30分)  
ピンホールカメラを作る(1時30分〜2時30分)  
フィルムに絵を描こう(3時30分〜4時30分)
- 3月4日 bubuスタジオ あつまれ! タイコのなかまたち 1時30分、3時30分  
【こどもの城】の「パーカッションアンサンブル」の子どもたちが出演するミニ・コンサート。体験コーナーもあつちます。

### 【こどもの城】児童厚生員等実技指導講習会終わる

#### 児童館の“ボランティア”考える 北海道から沖縄県まで27人が参加

平成18年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会「児童館のボランティア活動〜地域の人材を積極的にいかすコーディネーション〜」が、北海道から沖縄県まで全国から27人が参加して1月24〜26日に【こどもの城】研修室で開かれました。

児童厚生施設のなかで、ボランティアはどのような存在なのかを原点に立ち返って考え直すと同時に、ボランティア(地域の人たち)として活動に参画してもらい、元



「困ったボランティア」の話を再現しよう!に際しての話し合いの様子

気にも活動できるように支援するにはどうしたらよいかを考えました。

「基本にかえて「ボランティア」とは何か?」では、NPO法人笑顔せたがやの山崎富一さんを講師に招き、ボランティアって何だろう?なぜ受け入れるんだろう?―という基本的な事項を、少人数のグループで話し合うワークを中心に考えました。その中で、「ボランティア自身が望む活動」と「施設で必要としている活動」が必ずしも一致しないこと(二面性)にふれ、両者のズレが生じるとモチベーションが低下してしまうので、施設としての合意をとったうえでボランティアへの期待をきちんと説明するオリエンテーションを重視してほしい、と山

### 【こどもの城】児童厚生員等実技指導講習会終わる

#### 児童館の“ボランティア”考える 北海道から沖縄県まで27人が参加

平成18年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会「児童館のボランティア活動〜地域の人材を積極的にいかすコーディネーション〜」が、北海道から沖縄県まで全国から27人が参加して1月24〜26日に【こどもの城】研修室で開かれました。

児童厚生施設のなかで、ボランティアはどのような存在なのかを原点に立ち返って考え直すと同時に、ボランティア(地域の人たち)として活動に参画してもらい、元

### 【こどもの城】児童厚生員等実技指導講習会終わる

#### 児童館の“ボランティア”考える 北海道から沖縄県まで27人が参加

平成18年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会「児童館のボランティア活動〜地域の人材を積極的にいかすコーディネーション〜」が、北海道から沖縄県まで全国から27人が参加して1月24〜26日に【こどもの城】研修室で開かれました。

児童厚生施設のなかで、ボランティアはどのような存在なのかを原点に立ち返って考え直すと同時に、ボランティア(地域の人たち)として活動に参画してもらい、元

### 【こどもの城】児童厚生員等実技指導講習会終わる

#### 児童館の“ボランティア”考える 北海道から沖縄県まで27人が参加

平成18年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会「児童館のボランティア活動〜地域の人材を積極的にいかすコーディネーション〜」が、北海道から沖縄県まで全国から27人が参加して1月24〜26日に【こどもの城】研修室で開かれました。

児童厚生施設のなかで、ボランティアはどのような存在なのかを原点に立ち返って考え直すと同時に、ボランティア(地域の人たち)として活動に参画してもらい、元

### 【こどもの城】児童厚生員等実技指導講習会終わる

#### 児童館の“ボランティア”考える 北海道から沖縄県まで27人が参加

平成18年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会「児童館のボランティア活動〜地域の人材を積極的にいかすコーディネーション〜」が、北海道から沖縄県まで全国から27人が参加して1月24〜26日に【こどもの城】研修室で開かれました。

児童厚生施設のなかで、ボランティアはどのような存在なのかを原点に立ち返って考え直すと同時に、ボランティア(地域の人たち)として活動に参画してもらい、元